

「失敗しないためのハウス導入のポイント」の更新版をインターネットに公開しました！

「失敗しないためのハウス導入のポイント」は、生産者の皆さんが、自身の「経営計画や栽培の考え方」を起点とし、「自分にあったハウス」を自ら選んでいくための具体的な手順やポイントを紹介した資料です。

レイアウトや間口・軒高といったハウスの構造関係から暖房機・カーテン・環境制御機器といった付帯設備まで、各2ページほどでポイントをまとめています(図1)。また、全国のハウスの仕様や特徴をまとめた事例集(図2)、産地のリーダーやベテラン生産者に経営的な考え方をうかがったインタビューも掲載しています(図3)。

現在ハウスの新設を検討している生産者の方に限らず、リフォームや先々での新設を考えている方、生産者をサポートするJA・行政職員など、数多くの方にお役に立つ内容となっています。

この資料は(一社)日本施設園芸協会のホームページなどでもご覧いただけます。ぜひ、二次元コードからご覧ください。



資料作成・公開の背景と活用事例

園芸施設への投資を適正に

園芸施設の大規模化や高度化が進むなかで、投資の失敗は経営に長期的かつ致命的なダメージをあたえます。そこで、全農耕種資材部では、生産者の皆さんが適正に園芸施設への投資を検討できるよう、この資料を作成・公開しました。

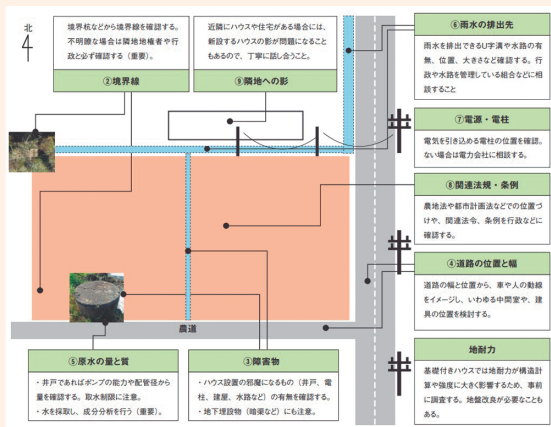


図1 土地確認のポイント

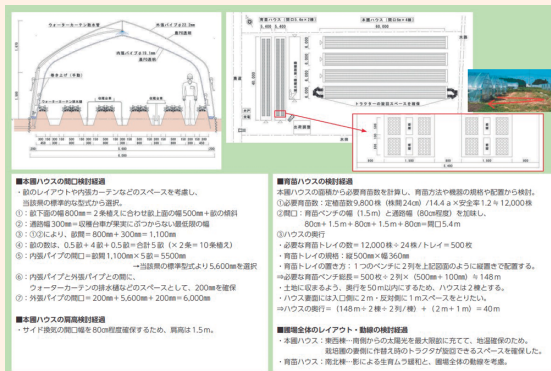


図2 ハウス事例集

資料を座学や講習会で使用

- ① JA全農みやぎの「いちごトレーニングセンター」では、新規就農予定の研修生に対し、この資料をテキストとした座学やハウス仕様の検討会を開催しています(写真1)。
- ② 群馬県JA邑楽館林では、青年部主催で、この資料をテキストとしたハウス講習会を開催しました(写真2)。現在、資材費が高騰し、従来と同じハウス仕様では新設するのが難



写真1 ハウス仕様の打ち合わせ

失敗しないためのハウス導入のポイント



全農 食と農を未来へつなぐ。

生産者インタビュー②

産地別の事例 小野一樹さん (40代、新築標準型)

12月10日として「JA全農みやぎ」にて開催された講習会。参加者から質問が寄せられ、小野さんは自身の経験に基づいて丁寧に回答していました。

講習会の様子

講習会では、ハウスの構造や設備に関する質問が寄せられ、小野さんは自身の経験に基づいて丁寧に回答していました。

講習会の様子

講習会では、ハウスの構造や設備に関する質問が寄せられ、小野さんは自身の経験に基づいて丁寧に回答していました。

図3 生産者インタビュー(一部抜粋)



写真2 ハウス講習会

しい状況のなか、この講習会は、自らができることの第一歩として、生産者の皆さんの発案で実施されました。事前に産地のハウス視察を行い、当資料の考え方に沿って特徴や改善したい点を整理し、勉強会のまとめとして、今後新設する際の改善イメージを共有しました。

●問い合わせ先
 全農 耕種資材部 園芸資材課
 TEL.03-6271-8310

【全農 耕種資材部 園芸資材課】